

貧酸素水塊速報 (2005年)

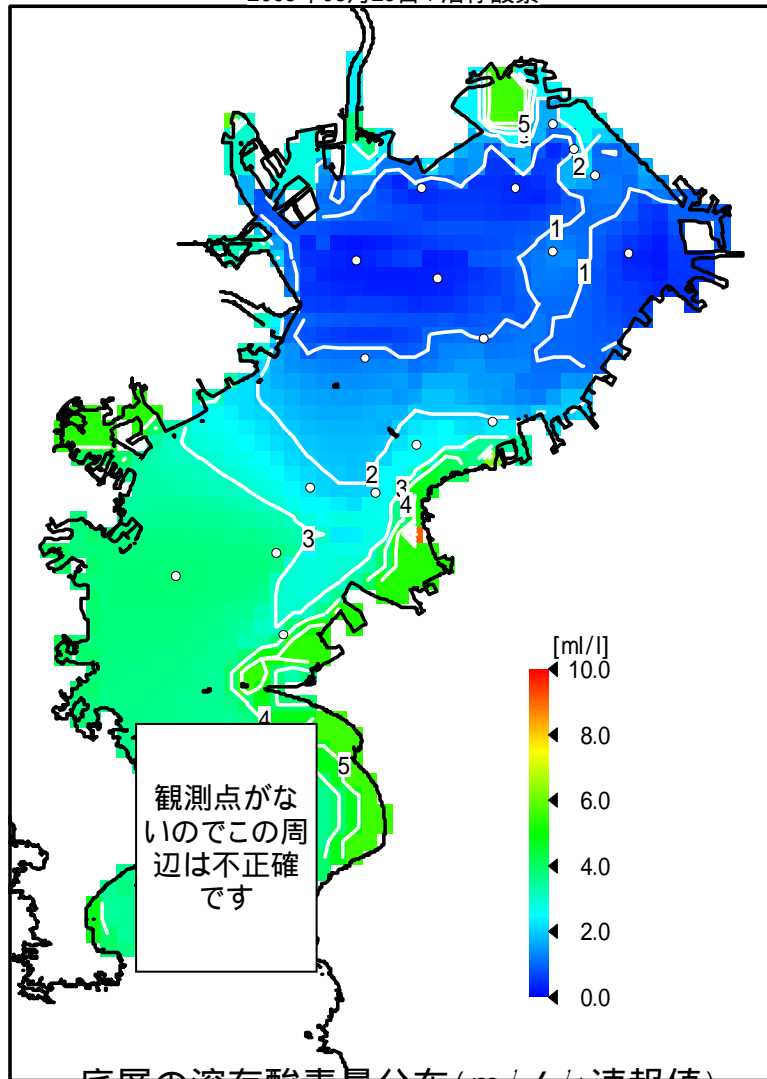
千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

台風11号通過後の観測結果です。貧酸素水塊はやや改善されましたが、内湾の広い範囲に分布していました。硫化物を含む無酸素水塊は解消していました。

河川水の影響の強い東京灯標～浦安沖を除き、ほぼ全域で濃厚な赤潮が発生しています。これにより再び貧酸素水塊の拡大が予想されます。優占種は珪藻のスケルトネマ (*Skeletonema costatum*) とニッチア (*Nitzschia pungens*) でした。水温は表層で24～26℃、底層で17～22℃程度です。上下の水温差が解消されていませんので、漁獲物の取り扱いに注意してください。

2005年08月29日：溶存酸素



底層の溶存酸素量分布(m//l速報値)
 平成17年8月8日観測分

8月1日から「東京湾貧酸素水塊予測システム」が運用を開始しました。水産総合研究センターのホームページからご覧ください。携帯電話からもアクセスできます。

docomoやauからは <http://www.agri.pref.chiba.jp/laboratory/fisheries/04jouhou/04tksuiteifile/04tksuiteimobile120.htm>

docomoやauからは <http://www.agri.pref.chiba.jp/laboratory/fisheries/04jouhou/04tksuiteifile/04tksuiteimobile150.htm>

vodafoneからは <http://www.agri.pref.chiba.jp/laboratory/fisheries/04jouhou/04tksuiteifile/04tksuiteimobilepng.htm>

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5m//l	貧酸素水
30～40%	2.0m//l	魚類に影響
	1.5m//l	貝類危険
	1.0m//l	
10%	0.5m//l	



docomo/au

vodafone